

- ⑱ ラトックシステム(株)
スマート家電コントローラ
 - ⑲ ラトックシステム(株)
smaliaスマートリモコン
-

⑱ ラトックシステム(株) smaliaスマートリモコン (概要)

企業名	ラトックシステム株式会社
機器・サービス名	smaliaスマートリモコン (RS-WBRCH1)
問合せ先	(問い合わせフォーム https://www.ratocsystems.com/form_press/ , 電話番号 06-7670-5056)
機器・サービスの概要	本製品は、スマートフォンでの操作や設定、スマートスピーカーを用いた音声操作等により、付属のリモコンを使用せず、テレビや照明、エアコンなどの家電製品を簡潔に操作するものです。
機器・サービスの特徴	<p>1. 機器・サービスの機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声で家電操作: 各家電の付属のリモコンやスマートフォンを使わずに、スマートスピーカーと連携させることで家電を操作できます。 (例)「テレビをつけて」「電気を消して」 ● 複数家電を一括操作: 本アプリ内の「シーン」機能の使用で、時刻や室温等の条件に合わせて複数の家電をまとめて操作する設定が可能です。 (例)「朝7時にエアコンを28℃に、照明をONにする操作を設定」 ● 外出先から家電操作: 本アプリを使用することで外出時でも家電操作が可能です。 <p>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 色知覚なしでの利用・・・本アプリを操作する際に色で判断する操作を必要としません。 ● 音声や発話なしでの利用・・・スマートフォンやタブレット操作のみで設定や操作が可能です。 ● サポート対応・・・365日対応可能な電話窓口や製品サイトにて問い合わせフォームを設置しています。





⑱ ラトックシステム(株) smaliaスマートリモコン (概要)

当事者ニーズを踏まえた開発

旧モデル発売後に、障害者向けの展示会への出展依頼を受けての製品出展、障害者IT地域支援センターにおける製品の展示など、障害者向けの情報アクセシビリティの一事例として当事者にニーズがあることを認知した経緯があり、実際に視覚障害者や要介護者による使用事例もあります。今回応募する新モデルに関しては、アプリのホーム画面のみで登録した家電の「入/切」の操作が可能になる等、少ない操作回数での家電操作に対応しました。

企業としての取組

2023年5月に実施された、アクセスエール株式会社主催による「さまざまな障害者が身体の動く部位を使って家電機器を操作できる汎用リモコン開発」支援のクラウドファンディングにおいて、スマートフォンやタブレットのアプリから家電操作をおこなうための赤外線ユニットのシステム開発に協力しました。
本リモコンは、テレビやエアコン、照明、扇風機などの赤外線対応機器の信号を予め準備し、また、学習リモコン機能も搭載したさまざまなニーズに対応できる「環境制御装置」として使用可能な障害者や高齢者の暮らしやコミュニケーションの課題解決に向けた製品として開発が進められました。同年6月末、同クラウドファンディングは目標金額300万円を達成し終了しました。

1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

a. 製品が提供する価値

- 音声認識を活用して家電等のリモコンを一元化して操作できること。
- 「リモコンの場所がわからなくなる」といった問題はどの家庭でも起きうるものであり、製品の開発目標が優れている。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 健常者がリモコンを手で操作するのが難しい場合にも対応していること。
- 全盲、弱視、色覚感受性のある人に配慮しており、電話でもサポートを受けられること。
- スマートスピーカー等と組み合わせることで肢体不自由の人にも有効である。
- 環境制御装置に応用できるという点で評価できる。

2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

a. 製品が提供する価値

- -

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 「製品の特性として、具体的にどのような(障害特性に合わせた)配慮がされているか」をわかりやすく公表することを期待する。
- 視覚障害者向けに、スマートスピーカーに話しかけて、家電を操作できる機能の実装を期待する。

3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- リリース後に障害者向けの展示会への出展等から当事者ニーズを把握し、更なるアクセシビリティ向上を目指している姿勢が評価できる。
- 障害者IT地域支援センターにおける製品の展示等を通じて、製品の改良が進められてきたことが評価できる。

4. 企業としての取組について、優れている点

- クラウドファンディングに協力する等しており、障害者や高齢者の暮らしやコミュニケーションの課題解決に向けた製品開発において期待ができる。